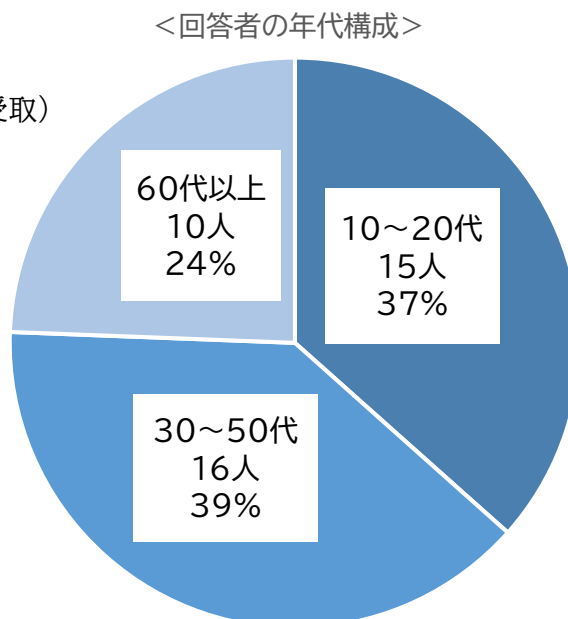


# 令和5年11月 広報議会モニターアンケートの集計結果

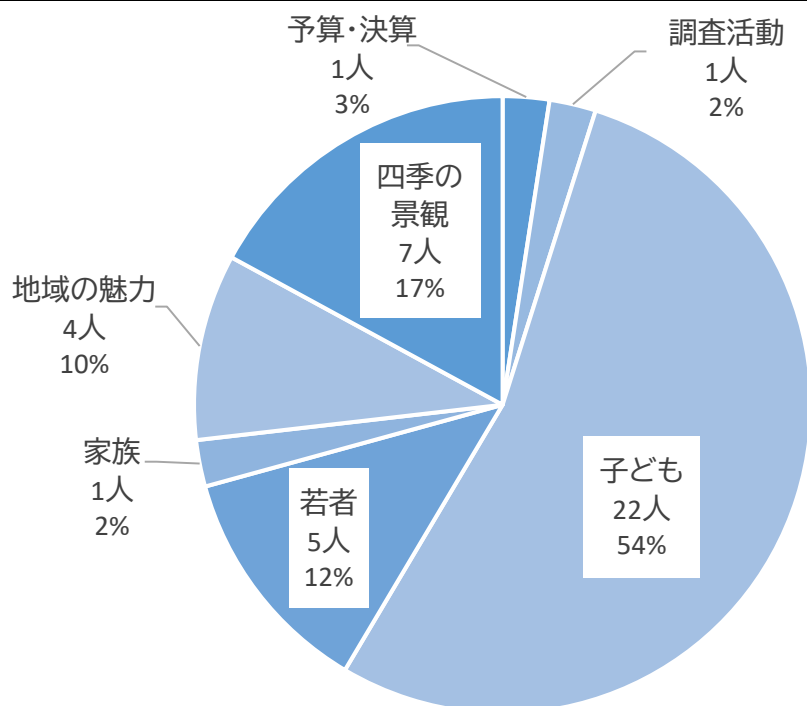
12月14日(木)時点

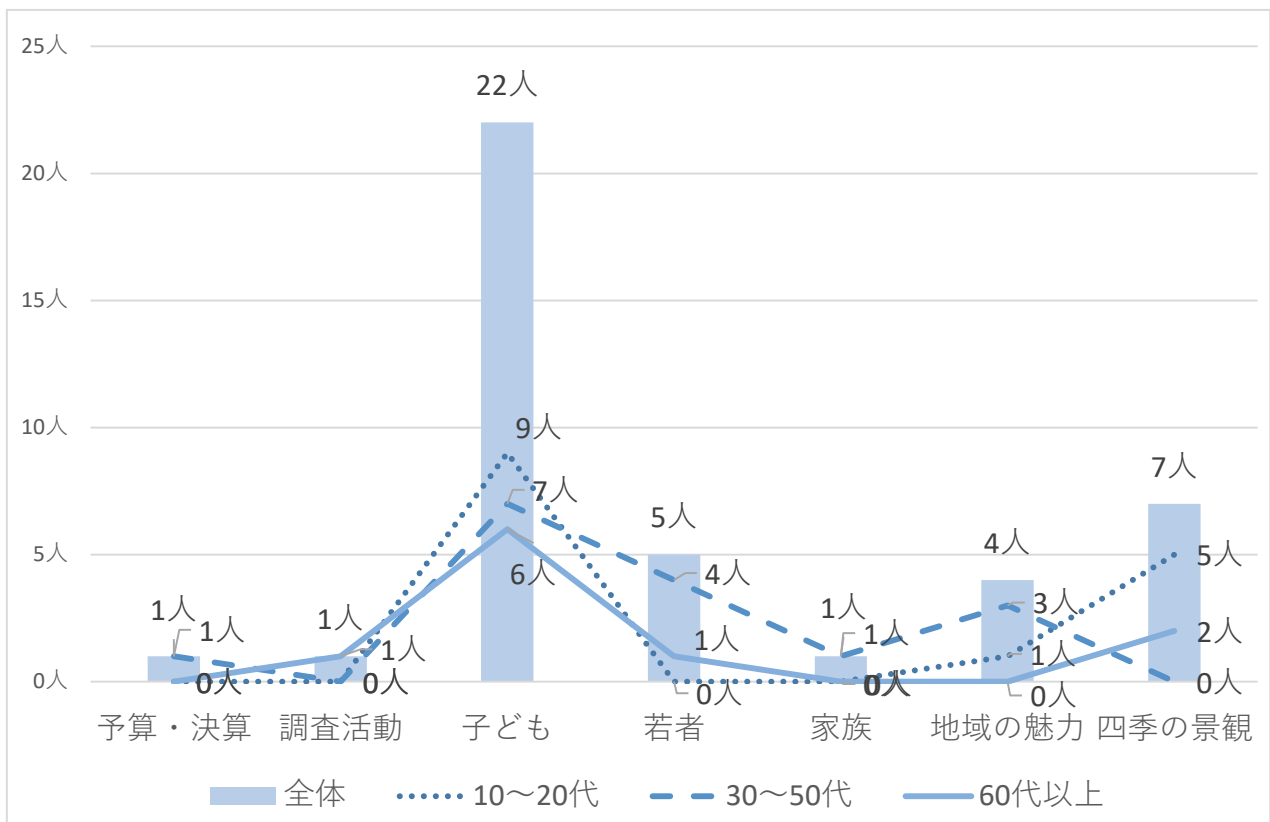
- 目的 「あいづわかまつ広報議会」をより読みやすく、分かりやすい広報紙とするため、広報議会モニターから紙面に関する意見等を伺い、より良い広報議会編集の参考にしていく。
- 実施期間 令和5年10月24日(火)～令和5年11月10日(金)
- 対象者数 広報議会モニター48名
- 回答者数 41名 (回答率85%)
- 実施方法 郵送配布、回収(返信用封筒、直接受取)
- 対象号 令和5年5月号、9月号



## ○ アンケートの集計内容

【問1】「広報議会」の表紙の写真について、現在「保育園・子ども園・幼稚園」シリーズを実施していますが、令和6年11月1日号で終了となります。それ以降の表紙について、どんな表紙(写真に限らない)がふさわしいと思いますか。





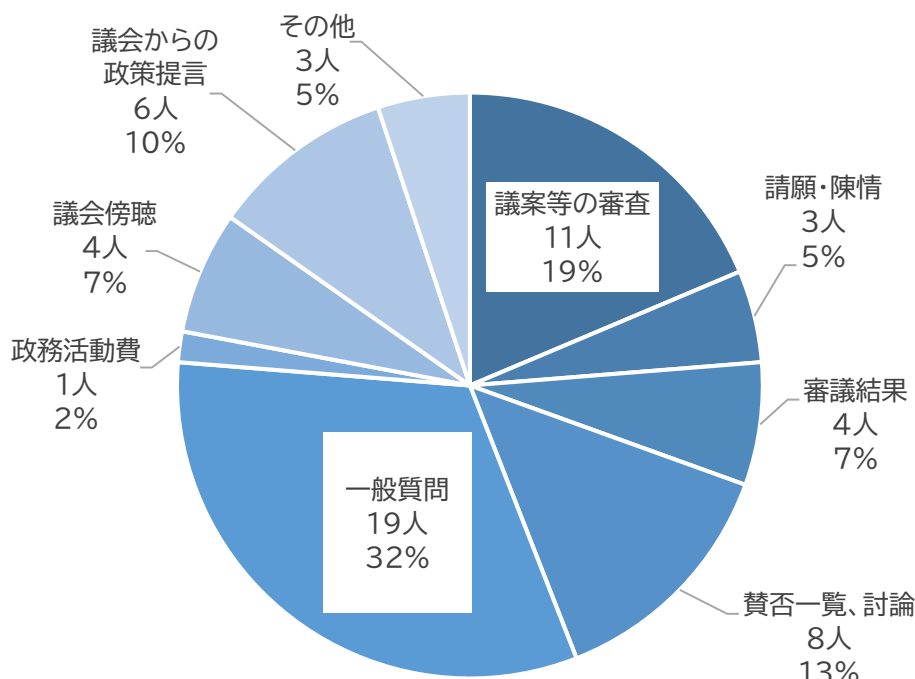
・ イメージの理由

イメージ分類	年代	理由等
予算・決算	40代	関心を引くことが重要。リアルに議会が議題に対して何をしているか分かれば、関心につながる。
調査活動	60代	議会での討論の中に出てくる場所や事柄について、わかったように読んでいますが、実際は何についてなのか、具体的なイメージなしに理解したつもりになっています。同じ道路の状況でも、その条件については全く違う状況にあるでしょう。その「現場」について表紙にして明確にしてくれればありがたい。
子ども	10代	保育園から始まって、幼稚園と来たので、自分たちと同じように、次は小学校に入って高校までの成長を、今後の表紙にしたら、今回の表紙とつながるように見えて良いのではないかと考えたからです。
		普段の生活では見られない様子を見れるとうれしいから。幼児に限らず、生き生きしている写真を見ると元気が出るから。
		写真は、これからも使っていくべきだと思います。広報議会を見る人の年齢層を考えれば、子どもたちが遊んでいる様子などを見たいと思う方はたくさんいると思います。明らかに改善すべきだと思うところは1つで、写真以外のスペースがあまりにも無駄です。目次なんて小さくて良いと思います。大切な事は、広報議会を1人でも多くの人々に手に取って見てもらうことです。そのためには、表紙から目次などが大きく書かれていて、文字の羅列が目に入ってしまうと、ほとんどの人が読む気を失ってしまいます。「あいづわかまつ広報議会」という題名以外は、とにかく小さく表記して、写真をとにかく大きくしてください。それだけでインパクトがあり、手に取ってくれる人が増えます。
		子どもの写真は、とても心が和むし、個人的には風景や植物の写真よりも目に留まりやすいので、このまま継続でいいと思います。
		保育園・こども園・幼稚園シリーズを終えて、新しいステージに上がるという意味から。
		どのような活動をしているのか知ってもらえる。
	子どもたちが元気に遊んでいる様子は、見ていて温かい気持ちになるから。	
20代	現在の表紙シリーズとシナジーがある。	
	20代	子どもの楽しそうな姿や何かに取り組んでいる姿を見ると元気になるから。

子ども	30代	現状のままが良い。
	40代	やはり、子どもが良いのでは。
		保育園、こども園シリーズに好印象があります。引き続き、このシリーズを希望します。
		手に取りやすくすること、明るい気持ちになれることが良い。広報の中身は文字が多いため、表紙は笑顔があふれるものが目を引くし、未来を感じられると思う。子どもやイベントなどでの笑顔の表紙が良いと思いました。
		子どもの方が手に取りやすいと思います。小学生や赤ちゃんなどでも良いかと思います。
		議会も、市が良くなるという目標に向かって一丸となって取り組んでいるということ伝えるため。
	50代	現在の表紙は大変に良かったので、終了は残念です。小・中学生で未来の子どもたちが活躍しているところなど。
	60代	将来を担う子どもたちが各学校で活動している様子など、生き生きとした表情の写真をお願いしたい。
		次の世代を担う子どもたちの写真が良いと思う。(小・中・高)
		小・中学校の学習や行事等の写真、もしくは会津若松市にある職場の写真等をシリーズで掲載してはどうか。会津若松市の今後の発展、豊かな未来を実感できるような躍動感あふれるシリーズ。
子どもは宝物です。各小学校のこれからの未来を象徴するものです。笑顔に満ちた子どもたちをぜひ拝見したいです。		
	現在の表紙で良い。	
70代	若松市で児童・生徒が生き生きと活動している、それを支えている大人(議会・議員)がいるという感じ。	
若者	30代	生き生きと働く若者が議会に興味を持つように。
	40代	主に若手の方、作品紹介を通して活動の場が増えたり、議員もそういった方々の応援をしているイメージ。
		地域で活動するクリエイター等の作品写真の紹介。公募にした場合は、SNSでの発信で広報議会誌自体の認知もUPする。
	50代	いろいろな方面で若い世代が頑張っています。市民の知らない活動や生産的な事、市内の活性化に取り組むこと、新規産業等、一般的に知られていない若人の励みになり、知ってもらうきっかけになる。
	子どもも良いのですが、子どもだけではなく、老若男女、赤ちゃんから高齢者まで、幅広く対象にしてはどうでしょうか。	
70代	会津若松市の10年先、20年先を見据えた、将来を担う人材の育成は、今から行わねば遅い。間に合わないと思う。議会としても早急に取り組んでほしい。	
家族	40代	子育て世代が元気に活動している様子は、元気な市政をイメージできると考える。
地域の魅力	10代	地域の食品店や小売店等を市民の人々に知ってもらうきっかけになれば、経済活性化や地域産業の繁栄にもつながると思うから。
	40代	コロナで大変だったであろう飲食店等を表紙にしてあげては良いのでは。
	50代	地域で頑張っている住民の励みになるし、市民に広く知ってもらう機会になる。
広く市民に知ってほしい宝だから(知名度が低い)。		

四季の景観	10代	表紙で市内の絶景スポットを掲載することで、市民に季節を感じさせつつ、多くの人が見ることになる表紙を市内で撮影できる風景にすることによって、観光地のアピールにもつながると考えたため。
		春なら山桜、夏なら山中の渓流、秋なら紅葉、冬なら雪化粧の様子を写真に撮ったものによって、盆地である会津らしさと、季節の様子が伝わるのではないかと考えているからです。
		5月号の鯉のぼりのように、4月だったら桜、冬は雪景色など、その月に合った季節の写真などがあつたら素敵だなと思いました。
		会津若松市の季節や自然の風景や伝統工芸を作成している写真が良いと思います。理由は、会津の良いところを多くの人を知ることができるからです。
		会津は盆地でまわりには山がたくさんあるため。
60代	会津若松市独自の歴史、風景、人などは、誇れるものが多いと思うから、多くの市民にも知らせてほしい。	
	会津若松市の残したい自然・農業風景などが良いと考えます。※自然の大切さ、農業の大切さを訴える。	

【問2】広報議会5月号・9月号を読んで、興味を持った記事や印象に残った記事はありましたか。  
(複数選択可)



・ その他の意見

60代 市民との意見交換会の日程

理由:市民との意見交換会はなるべく参加したいため。

※複数選択可としており、どの選択肢の理由か判別つかないため、年代順に並べています。

・ 選択理由

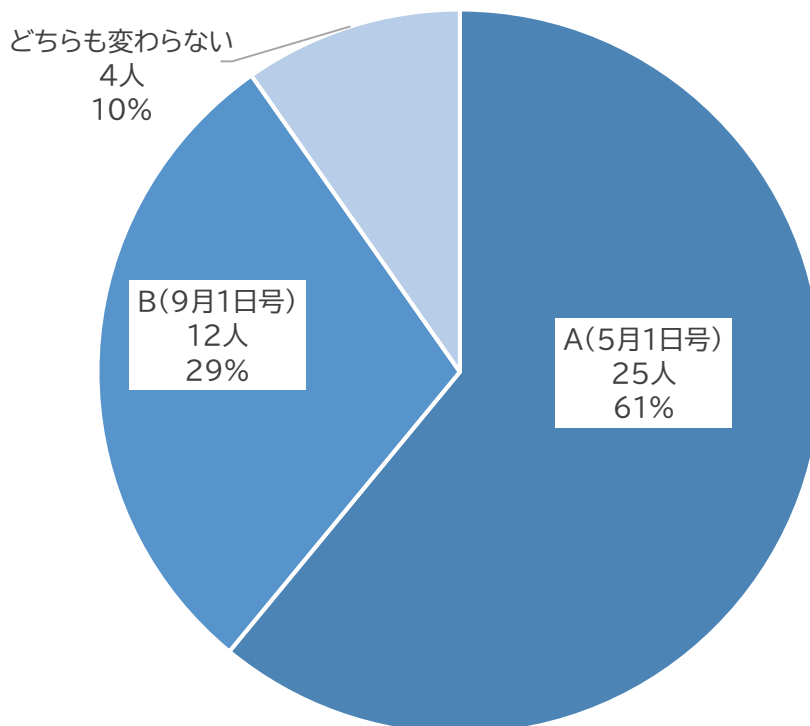
年代	理由等
10代	文章ばかりでなく、写真やイラストが入っているので、とてもわかりやすく見やすいです。また、大事なところに色が入っていて、とても分かりやすかったです。
	普段、知りにくくなってしまうている、実際に行われている事業や、新しく追加された仕組みを知ることができたから。
	自分だけでは思いつかない発想を得られたから。
	議員の考えについて知ることができた。
	次の議員選挙の参考材料にしやすい

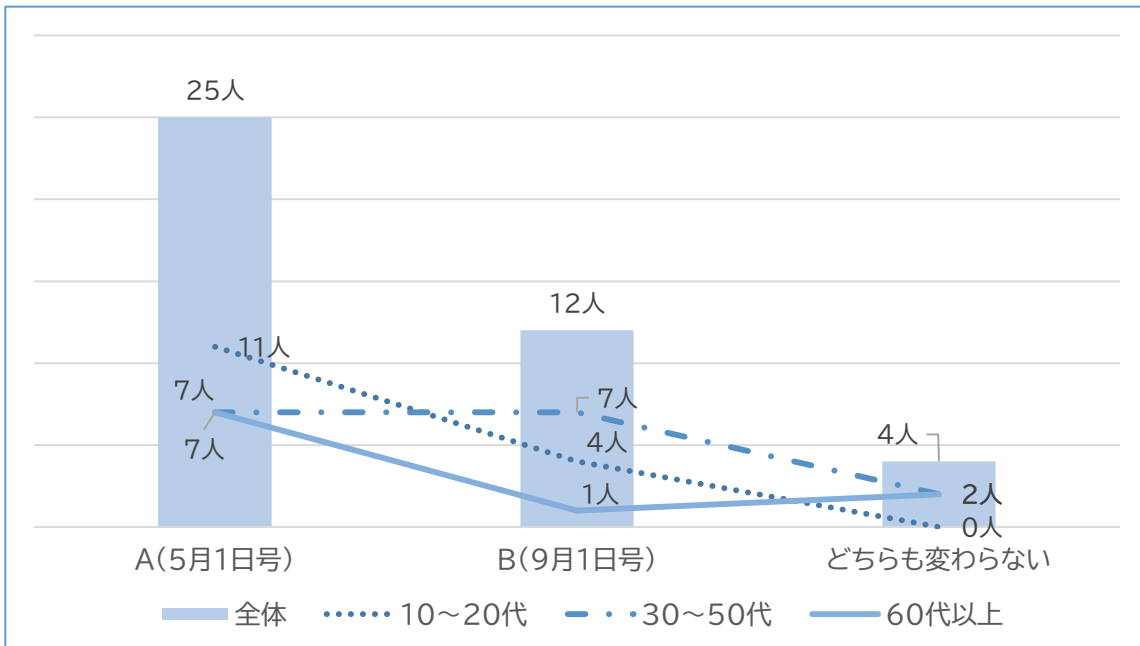
10代	市がどういう考えを持っているのか知ることができたから。
	議員の方々がどんな質問をされたのか、それに対しての市の答弁には、とても興味があったから。
	議案等の審査で、会議で話された内容(町づくりのことや待機児童のことなど)を読めて、一般質問では経済についての質問などに対しての、市の考えや方針がわかるからです。
	一番、市民の皆さんにとって身近な問題である物価高への対策や、あまり認知度が高くない会津財布についてなど、幅広い内容について市の回答が分かりやすく明確に示されたから。
	どのような問題があって、どのような解決策を出しているか、詳しく知ることができるので、とても興味深かったから。
	この辺りは、とても読みやすいので、どんどん読み進めていく読者も多いかと思います。
	いろいろな人の意見が見られ、会津だけの考えられるものや、国に対しても考えさせられるものまでありました。奨学金のことなどは、私も興味があったのでスラスラ読めました。40歳まで奨学金を返済している人などが多いため、これからいろいろな対策がどのようにされていくのか気になりました。
20代	写真やイラスト、図があって、見てて分かりやすく印象に残った。
30代	(5月号)学校給食の無償化について聞いているが、市長選挙で各候補者が無償化を謳っていたのに、困難ですだけでは、回答としてどうなのかと思いました。
	市への働きかけでどんなものがあるか知りたいから。
40代	どんな議案があったのか。
	若松の現状の問題をリアルに感じられる。それに対して、一人一人の市議がどのように考えて、解決するための活動をしているかが分かりやすいから。
	質疑応答は、どういう理由で今の現状や課題などがわかり状況把握ができる。議会だけではなく、市民との意見交換会は、各地区の問題点や課題が分かり、貴重な意見交換会だと改めて感じました。
	子どもの口呼吸改善「あいうべ体操」について、マスク生活で口呼吸が大人も含めて増えていることを聞き、意識するようになった。乳幼児健診などでも鼻呼吸の重要性を伝えてほしいと思います。
	見やすい。
	会津コインやポイントの在り方が直結しやすいので、気になりました。
50代	議案に対する市議の考えが分かるから。
	毎回、議員一人一人、市にはどんな課題があり、それをどうすれば良くなるのかという考えが質問から感じ取れるので、興味をもって読んでいます。傍聴をした方々は、一般市民の意見を伝えていると思います。丁寧にその思いを受け止め、議会活動に活かしてほしいです。
	何を課題として向き合っているかがわかる。
	とてもおもしろい視点で見られていて、内容に興味を持ちました。
60代	5月号は、地域、子どもを中心に幅広く審議され、バランスよく討論されていると思う。9月号は、知らなかった議案が多く、市で抱える問題を改めて認識させられた。各分野でしか知らない問題が多く審議されていることを知り、知見となった。
	特集記事は読みごたえがありました。紙面構成も読みやすく、とても良いと思いました。
	各議員の考え方が反映されているから。
	現在の市政の課題・問題が伺える。
	特に「議会からの政策提言」は、これからも継続して実施すべきと考えます。応援します。
	人口減少が続くことは、企業誘致ができない、又はしないことが最大の問題と考えます。
議会での審議の様子が分かりやすかった。	

60代	<p>一般質問は、市の課題に目を向け、様々な切り口から行政の対応について質問しているのは良いと思う。しかし、市の答弁からは結論が見えず、市の施策に反映されているのか疑問である。100年先を見据え、市政に反映すべきこと、実践すべきことは、しっかりと市民の為に取り組んでほしい。こどもクラブの待機児童の問題、デジタル地域通貨機能を活用したプレミアムポイント制度について疑問。待機児童については、児童が放課後に別のこどもクラブに移動していくのは困難である。デジタルを使いこなせない高齢者もいる。制度の恩恵を受けることのできない弱者に目を向ける必要があるのではないかと。</p> <p>アンケートを受けて、試行的に5月号を編集しているのは、積極的な姿勢が見えてすばらしいと思った。</p>
70代	<p>請願・陳情については、市民が議会に参加している事がわかる。傍聴については、市民がどの位参加したか、人数もほしい。5月1日号の様に、望む事への返事をのせると、やりとりが分かって、さらに良いと思う。</p> <p>特になし。身近なことや自分が関心のある事、支援している議員の活動は気になるので、その記事を中心に読む。</p>

【問3】広報議会5月号・9月号を読んで、以下の項目について、それぞれどのように思いますか。

【問3-(1)】一般質問の掲載について、5月1日号では試行的に3段組で掲載しました。従来の6段組(9月1日号参照)と比べてどちらが読みやすい(見やすい)と感じますか。



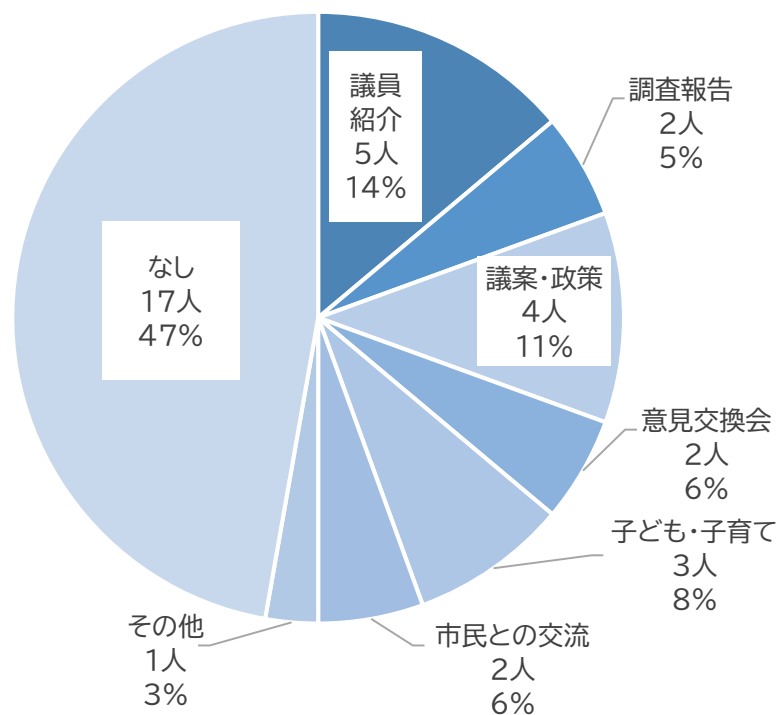


・ 選択理由

選択肢	年代	理由等
A (5月1日号)	10代	縦読みなのは変わらないため、一度に読みやすいのは、5月号だと思いました。
		質問の文章が長かったり、数が多い場合、Bの形式だと文章が途切れた場合、上段の左下から、下段の右上までと、かなり離れたところにまで視線を移動させなくてはいけないのが、少し見えにくいと感じた。Aはそれが改善され見やすく感じた。
		視点を行ったり来たりさせる必要がなく、格段に読みやすくなったと感じた。ぜひ、「議案等の審査」など、他の項目も3段組にしてもらいたいと思う。
		横に読んでいだけで読みやすいから。
		Aは3段組と少なく、一度目を通したら、いちいち目を上下に動かさずにゆっくり見れますが、Bは6段組で目を通したら、目を何度も上下に動かして、ゆっくり見れないと感じたので、Aの方が読みやすいと感じました。
		Aの方が問の文章と答えの部分の区切りがついていて、見やすかったです。また、文字の太さがAの方が見やすかったし、読みやすかったです。
		3者3段組の方が、1人に対して問答の文も1段になっており、そのまま右から左に読み進めることができるから。ただ、上下に視点を大きく動かさないといけなくて、どちらも一長一短ではあると思います。
		6段組に比べて、文のまとまりが分かり易いため。
		6段組みに比べて、3段組みのAの方が全体的に大きく見えるから。
	1人の質疑を2段で書いていると、逆に見づらいです。Aのように1人の質疑に1段で書かれていた方が見ていて楽です。	
	1行が短いと言葉が切れることが多くなるので、Bは読みにくい。カタカナなど。	
	30代	純粹に読みやすかったです。
	40代	目の切り返しが少なくて済むため。
縦組みの文章は1行あたり20~25行がスラスラと読めるそうです。6段組は新聞と同じくらいなので、好みかもしれませんが、3段組の方が良かったです。		
イラストがある方が気になります。		
	視線誘導がAの方が良かった。読みやすかった。	
50代	2段より1段の方が読みやすかったです。	
60代	個人の意見としては、読みやすい、見やすいと感じましたが、文字数の確保ができるのか心配している。	

A (5月1日号)	60代	1行の文字が少なすぎて、目が疲れます。
		見やすい。
		3段の方が圧迫感がなくて良いと思う。
		すっきりしている。
		3段組の方が読みやすいと感じました。
70代	文字数が少なく見える方が読みやすい。	
B (9月1日号)	10代	次の行へ目を移しやすく、読むテンポが悪くなりにくい。
		細かく区切られていて読みやすい。
		3段組だと6段組よりも文章が長く感じてしまう気がしました。
	20代	1行の文字の数が少ない方が見やすかった。
	40代	長く文字が続くと見づらく感じる。Bの3段組は見やすく、目が疲れなかった。目で文字を追いやすいと思います。
		字が大きい方が見やすい。
		6段組の方が字が大きく見える。
	50代	個人的には6段組の方が読みやすい。
		見やすく、目が疲れず、また、読みやすく、分かりやすい。
	60代	パッと見て、分かりやすい。
個人的に良いと思う。		
どちらも 変わらない	40代	違いが分からなかった。
	50代	この文章量だと、どちらも差はない。
	70代	読みやすい、読みやすくないは、記事の内容による。自分に関心のある内容によって、読む、読まないが決まるので、読みやすさは、あまり気にならないと私は思う。

【問3-(2)】新たに掲載してほしい記事はありますか。



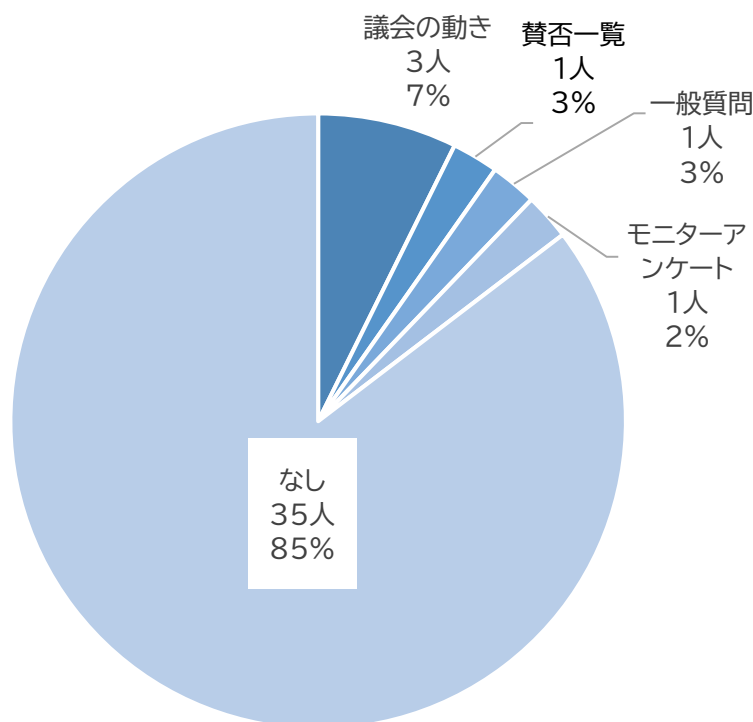


記載理由

分類	年代	理由等
議員紹介	10代	現在、議員がどのような人物か知る機会というものが少ないので、議会への関心というのが、なかなか持ちづらい。そのため、このような機会を増やしてほしい。
	20代	議員のことを知りたいと思ったので、何人かずつ「自分はこういう人」ということを知りたいと思った。
	40代	市のイベントに出席されたりと、議会だけでなく様々な活動をされている議員のトピックなどがあると、より身近に感じられると思います。
	50代	より身近に感じたい。同じ生活者としての人柄を知りたい。
	70代	議会だよりの様なものを出している議員(団体)もいるが、4年間何をしたか分からない議員もいる。発行ニュース等を必ず事務局に提出させ、そのタイトルを知らせて、事務局で市民が見られるようになるといい。
調査報告	40代	調査旅費を6の会派が支出していますが、どこへ、どのような内容、活動をし、成果はどうだったのか知りたい。議会の討論内容も必要ですが、その他の活動も掲載があると、より身近に感じられるのではと思いました。広報議会という名称なので、関係ないのかもしれませんが…。
	50代	研究研修/調査の(各会派で実施しているもの)トピック等の紹介をぜひしてほしい。また、他市で行っている良い取組や取り入れたいものなどがあれば、紹介していただきたい。
議案・政策	40代	どこまで、その提案に対して事案が進行しているか、パッと見てよくわからないから。また、過去の議題が、今現在、市政にどのように反映して改善されているのかも知りたいから。
		スマートシティのこれからの目標や議題のことをよくわかるように出してほしい。市政のやりたいことに合わせた転換などがしやすくなるため。
議案・政策	60代	それぞれの予算の明細項目の紹介。例えば、相手先の明細、積算単価、相場価格との違いなど。 一般質問の答弁で終わりにせず、その後の経過や取り組みについて、掲載してほしい。「～できない」ではなく、必要性があるなら、どうしたら実現できるようになるか、可能になるか考えていくのが議会ではないか。
意見交換会	50代	市民との意見交換会で出た意見は、市民の地の意見だと思います。良い意見を抜粋して紹介していただければ、共感できる方も多々おられると思います。意見交換会自体の開催も知らない方も多く、意見を多く集めるためにも良いと思います。
	60代	市民との意見交換会での意見を受けて、議員が具体的に動いて、市政が変わっていく(改善していった)事例をここで見せてほしい。
子ども・子育て	10代	一般質問では、議会の人たちや与野党の人の質問と大人の人の質問が多いので、逆に、高校生が市へ質問をして、それに答える記事を読むことで、自分と同世代の人が、どんなことを思っているのか知るきっかけになると思ったからです。 行事等の楽しい内容の記事を掲載すれば、子どもたちに読んでもらえると思うから。
	50代	まず、読んでいる人が少なすぎます。興味を持ってもらうために、ターゲットをしぼることも大切ではないかと思います。例えば、予算から決算が大切なサイクルであるということを、具体的に写真やフローチャートのように分かりやすく説明する特集を入れるなど。
市民との交流	10代	一般人の意見も時に大切な事ってすごくあると思うからです。
	60代	選挙の時だけではないことを示していく姿勢が必要であると考えている。
その他	10代	元気いっぱい走り回っていたということしか分からないから。例えば、「この遊具が人気！」など、詳しい様子まで知ることができたらいいなと思った。
特になし	10代	今のままでも議会の内容を市民に明確に伝えることができていると感じたから。 現状、掲載されている内容だけでも、必要とされる情報は十分に得られると思ったから。新たに掲載してほしいことを挙げるならば、議員についての説明があると、彼らの発言の理由を知る一因になるので、良いのではないかなと思う。 あくまでも、議論の内容であったり、市政に関する情報を掲載するものなので、内容としては、十分だと思います。

特になし	30代	一般質問への「答」が、掲載スペース上の問題なのか、回答として不十分に感じる時がある。
	50代	現在のままで良いと思います。これからも密のある記事を期待しています。
	60代	よくできていると思う。

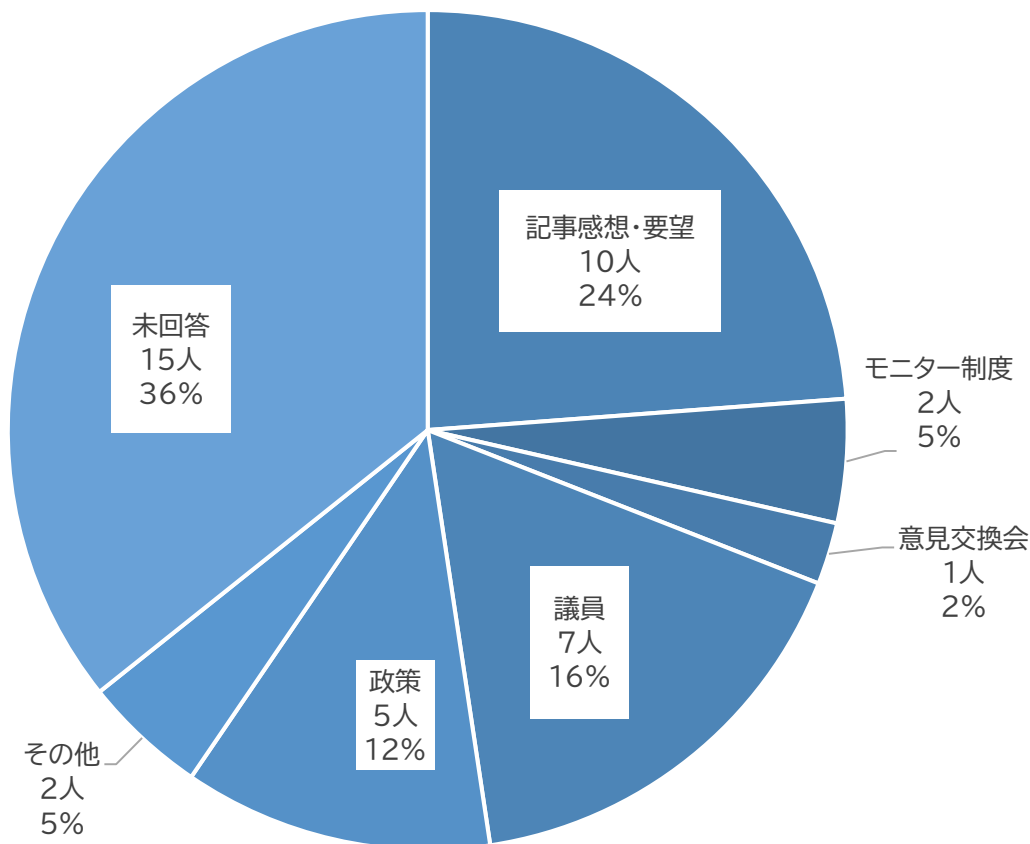
【問3-(3)】「広報議会」に掲載している記事の中で、必要性を感じない記事はありますか。



・ 記載理由

分類	年代	理由等
議会の動き	10代	特に見ても分からないから必要ないと思います。 細かいので、読む気にならなかったから。
	40代	読んだだけでは、どこでどのような会議が行われているかがわかりにくい。わかりやすい表現へ改善が必要ではないか。
賛否一覧	10代	この記事の後の討論でも賛否について書かれているので、その2つに分けなくても、2つ一緒に記事の中でまとめればよいのではないかと思ったから。
一般質問	10代	この資料において、多くのページを割いているのだが、少し多いのではないかと感じます。掲載量を減らし、余ったところへ、他の内容物を載せても良いのではないか。減らしたものは、ホームページ等を活用し、インターネットへの掲載のみで良いと考える。
モニターアンケート	40代	市民が興味を持つ内容ではないと思う。
特になし	10代	内容も良いと思います。問題なのは、文字の量が多すぎることで、字体のバリエーションの少なさだと思います。 全て市民が議会で議論されていることを知るためには重要だと感じたから。
	50代	伝えたいから載せていると思うので決められないです。ただ、文章やレイアウトが硬いのです。サブタイトルの工夫、読みたくなるようなタイトル等。
	70代	議員の皆さんの活動は、この広報議会を通じて知ることになるので、このままで良いと思う。

【問4】広報議会モニターの活動を通して、議会広報紙「あいづわかまつ広報議会」や会津若松市議会そのものに対して気づいた点などがありましたらご記入ください。



・ 記載内容

分類	年代	内容
記事感想・要望	10代	やはり、どうしても若者にとって長い文章を読まないといけない上、難しい内容も含まれているので、読む人が少なくなっているのが問題だと考える。なので、最初に読む人が読みやすいような、月ごとのものでない恒常的な今の会津の施策や方針、目標などについてまとめたものがあれば、もっと手軽に読み始められるようになると思う。
		とても見やすくて良いと思うのですが、政治に対して厳しいイメージを持っている人も多いので、より多くの人に読んでもらう為にも、分かりやすい言葉で書いた方がよいと思います。
		いろんな記事を読んで気付いたのが、文章を書いているのは良いのですが、あまり図がないので、文字だけでは、細かくて分かりづらいところがあったので、今後は、図を少しでも取り入れて分かりやすくしてほしいと思った。
		5月1日号4ページの「議案第2号・・・」のように、グラデーションのかかった円があるが、何が書いてあるのかが見づらくなっていると思った。単一色の円に白抜き文字か、円の色の濃さを下げるとより良くなると思う。
	40代	傍聴の感想は、一般市民の方や学生などの感想を掲載した方がよいと思う。
		聞きなれない文言が多く使われることは仕方ないが、多くの市民に伝えるには、専門用語は使用することをなるべく避けるようお願いしたい。小・中学生でも分かる表現を使用してほしい。
		子育て世帯は、子どもの学校の手紙など、とにかく読まなければならないものが日々多いため、広報議会など、一見、自分たちには影響がないと思い、読まないかもしれない。年代別に関わりのある事案は、色別や先頭に持ってくるなどして、全部読まなくても提案や活動結果、その次の方向性がすぐに見てわかるようにしてほしいです。

記事感想・要望	50代	今回、新しい体制が整ったので、今までのように市民に分かりやすい広報紙を作っていたきたいです。
	60代	毎回、同じような内容です。 広報議会の発行によって、市民の方々は議会でのどのようなことが話し合われているのか、また、どのような請願・陳情がされているかがわかり、とても良いと思う。市政だよりのように、もう少し読みやすい文章になればと感じる。(文章が少し硬い)
モニター制度	20代	住んでいる場所は異なりますが、会津若松市の広報議会モニターを通して、会津若松市がよりよくなるために活動していることがよくわかりました。貴重な経験ができました。ありがとうございました。
	70代	会津地方の市町村のモニター活動はあると思うが、どんな事をして、どの様に報告、生かされているのか知りたい。
意見交換会	40代	アンケートに答えるためにも、しっかり目を通す機会になりました。市民の声にも期待にも答えられるよう、毎回、紙面づくりに工夫をしている部分がよく伝わっています。市民との意見交換会について、男女の人数のみ集計されていますが、年代別も知りたいと思いました。
	50代	何度も言っていますが、意見交換会の時間・・・日中も設定してほしいです。18時から18時30分は夕食の時間です。毎回とは言わないので、せめて2回くらいは。
議員	40代	議員のマスクを外してほしい。
	50代	幅広い議案、審議ありがとうございます。市議の中には、かなり専門的な知識を持った方がいらっしゃると聞いております。各議員が、何について詳しい専門的知識、資格を持っているか等、会派は大切だとは思いますが、適材適所で市民の問題に取り組む姿を紹介してほしい。 市議会の取組や各議員の考えの視点などが見えて、議会への興味がわきました。
		60代
	70代	
傍聴	10代	もっと多くの学生に議会を傍聴して欲しいため、もう少し傍聴の呼びかけをしても良いかと思います。

政 策	10代	<p>政策提言の機会を高校生に与えることは可能だろうか。総合的な探究の時間を活用して、地域課題解決の方法を考えて発表する。それを高校内にとどめず、市全体の規模まで持っていかれたらいいと思う。実際に神明通りを活用する案を考えて、発表している先輩がいた。それを無駄にしないためにも、高校生に関わる機会を与えてほしい。高校生は忙しく、自分から何かをすることはあまりない。</p>
		<p>改善の対象が老人や子育て世帯などであり、高校生のことは何もない。そもそも、高校生自体が市政にそこまで興味を示していない。高校で政治の勉強をするが、勉強に時間を取られすぎるために、他のことをする余裕がないので、本末転倒であると思う。</p> <p>高校の生徒会などに働きかけて、市政を知る機会や、つながりが欲しい。高校同士でのつながりもほしい。中学校までは、地域の老人ホームや幼稚園を訪問することで、地域とのつながりが感じられたが、高校では皆無である。(自分の高校だけかもしれないが)だからこそ、自転車のマナーや騒音などで、地域住民に迷惑をかけることをなんとも思わないのではないだろうか。</p>
		<p>広報によって、しっかりと議会側から市民に対して必要な情報を周知しているのだなと改めて感じました。このモニターでの回答も早速広報に試験的に導入されていたので、このモニター活動を含め、さまざまな市政に若者などを中心とした市民の参加する機会が増えればいいなと思いました。</p>
	40代	中・長期的な政策に関する内容、経過等が見えない。
その他	50代	議会評価は、あんなに苦労したのに市民委員の意見が見えなくて残念。
	60代	市では、様々な場面で市民からの意見を求めるが、その意見が反映されているかが疑問。市民の意見を聞きましたという既成事実をつくるために実施しているのではないか。アンケートの集計報告と5月号の議会モニターのアンケート結果の掲載を見ても、この感じが否めない。事務局の今後の対応に期待しています。